

HOT PEOPLE

2 第20回全国こども陶芸展 inかさま 表彰式

7/23

伝統文化である陶芸を通し、子どもたちに自由な創造力を発揮する場を提供することを目的に毎年開催している「全国こども陶芸展inかさま」が今年で20回目を迎え、茨城県陶芸美術館において表彰式が行われました。全国から1,335点の応募があり、市内の児童・生徒から1名が最優秀賞、7名が特別賞を受賞しました。



市内受賞者の皆さん、
後列（左から）森さん、田中さん、杉田さん
前列（左から）立花さん、荒井さん、田中さん、田村さん、臼井さん

4 富施選手、 2020全日本新人王に勝利

7/14

東京 後樂園ホールで開催された「ワタナベジム&DANGAN 興行」に、笠間市出身の富施郁哉選手が出場しました。

2017年全日本新人王の富施選手は、2020年全日本新人王の富田選手とのサウスポー対決を制し、見事勝利！ランキング返り咲きを果たしました。



富施選手（写真右）

1 吉武さんが環境大臣表彰を 受賞

6/23

吉武和治郎さんが、「令和3年度地域環境保全功労者表彰」を受賞されました。この賞は、多年にわたり地域で環境保全を普及啓発するなど、特に顕著な功績があった方を表彰するものです。

吉武さんは、「茨城生物の会」発足時から事務局長を長年務め、茨城県環境アドバイザー等として講演も実施されています。現在は、市民団体かさま環境を考える会の会長としてご活躍されています。



吉武和治郎さん（写真中央）

3 バイクドラッグレース 県内初開催の橋渡し役

バイクで1/4マイル（約402m）のタイムを競う「ドラッグレース」の年間シリーズが、城里町を会場に県内で初開催されました。その大会開催の橋渡し役となったのが、笠間でZAPレーシングサービスを営む、長谷川健次さんです。

2002年から宮城県、2012年から福島県で行われていたレースが、会場の都合で中止の危機にあったことを知った長谷川さんが、（一財）日本自動車研究所城里テストセンターに連絡したところ快諾が得られ、開催に至ったということです。



6月13日に開催されたドラッグレースで（写真手前中央が長谷川さん）

6 鳥獣被害対策実施隊へ 感謝状

7/2

笠間市鳥獣被害対策実施隊員として、有害鳥獣捕獲事業に10年以上従事している菅谷稔さんと首藤定光さんに、感謝の意を表し市から感謝状を贈呈しました。

市長から隊員の方々へ「皆さんの活動のおかげで農家の方は安心して農作物を作ることができる。これからも健康に留意し頑張ってください。」と感謝が伝えられました。

同隊では、農作物への被害防止のため、有害鳥獣捕獲活動に取り組み、昨年度はイノシシ138頭、カラス288羽、ハクビシン50頭を捕獲しました。

また、今年の3月には、県猟友会笠間支部の長年にわたる有害鳥獣捕獲活動に対し、笠間警察署長より感謝状が贈呈されました。



左から、市鳥獣被害対策実施隊 大須賀隊長、坂上事務局長、菅谷隊員、首藤隊員、山口市長

5 ありがとう アベベさん！

令和元年8月から2年間、スポーツ国際交流員として市内でスポーツ指導を行っていたエチオピア出身のアベベ・メコネンさんが、8月に任期を終え帰国しました。市内小中学校での陸上授業をはじめ、エチオピアと笠間を繋ぐ架け橋として熱心に活動していただきました。

「笠間は第2の故郷です。笠間が大好きです！」と笑顔で語るアベベさん、いつかまた会えることを楽しみにしています！



ありがとう、アベベさん！

7 ボーイスカウト笠間第1団が 県知事から表彰

笠間地区で活動しているボーイスカウト笠間第1団が、優良青少年団体として県知事から表彰されました。

ボーイスカウト笠間第1団は1962年の設立から約60年にわたり、小学生から大学生までの野外を中心とした青少年の健全育成に取り組み、現在も50人以上の規模で活動していることが、今回の表彰につながりました。



ボーイスカウト笠間第1団の皆さん

8 星を見上げて歩き続けて

かさま応援大使の女優 柏木由紀子さんより、図書「星を見上げて歩き続けて」を市にお送りいただきました。坂本九さんとの突然の別れから、柏木さんが再び幸せの星を見つけるまでの“心の軌跡”をつづった本です。

今年は坂本九さん生誕80年の節目。市内では坂本九さんの曲が時報や駅で流れ、たくさんの人たちに今もなお親しまれています。市内図書館でも貸し出しを予定していますので、皆さんもぜひご一読ください。

寄贈いただいた図書「星を見上げて歩き続けて」

